



白石町立須古小学校 令和元年度よりよい学校にするためのアンケート結果



保護者の皆様へ

1月に行いました「学校評価アンケート」につきましては、ご協力ありがとうございました。
保護者アンケート回収率は、97.5%でした。

以下、児童、保護者、教職員のアンケート結果と改善策等を掲載しております。

本校では、皆様方のご回答を貴重なご意見、ご支援と受けとめ、今後の学校教育の改善に役立たせていきたいと考えております。今後とも、本校の学校教育へのご協力、ご支援をよろしくお願いたします。

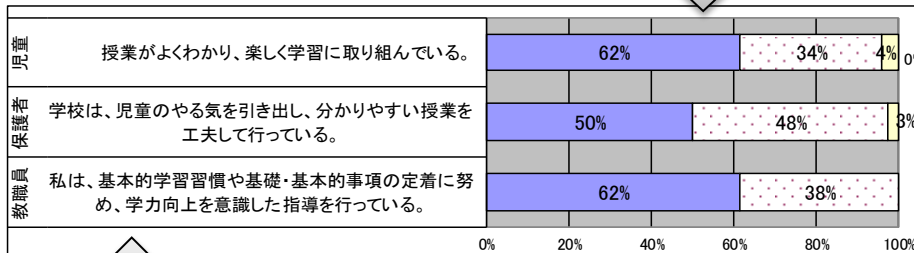
棒グラフの数字は、評価毎の割合（左からA、B、C、D）

- A：十分そう思う
- B：だいたいそう思う
- C：あまりそう思わない
- D：全くそう思わない



【グラフの見方】

1 学力向上(基礎的・基本的学力の定着)



(考察及び今後の取り組み)

・全国学力・学習状況調査(6年生対象4月実施)では、国語のみ全国・県平均を上回りましたが、佐賀県学習状況調査(1～6年生対象12月実施)においては、ほとんどの教科で県の平均値を大きく上回ることができました。

・児童アンケートでは、「授業がよくわかり、楽しく学習に取り組んでいる」という問いの「十分そう思う」児童の割合は昨年より15ポイント伸びてきており、児童が意欲的に授業に取り組んでいることが分かります。しかしながら、保護者アンケートの「学校は、児童のやる気を引き出し、分かりやすい授業を工夫して行っている」については、教職員との意識のずれがあります。今後さらに、わかる授業づくりに向けて、研修を重ね学校として教師の授業力向上に努めていきたいと思ひます。

上段：児童
二段目：保護者
三段目：教職員への質問項目

児童・保護者・教職員の評価の
平均値

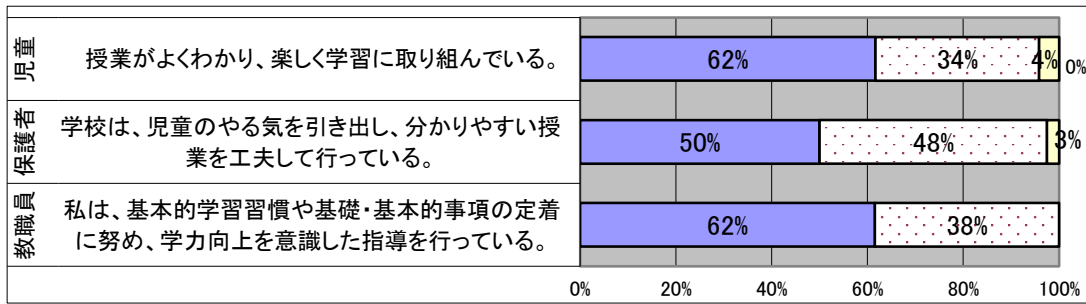
右端の数値は、評価値

$$Aの得点率 \times 4 + Bの得点率 \times 3 + Cの得点率 \times 2 + Dの得点率 \times 1$$

評価A……4.0～3.3 評価B……3.2～2.5
 評価C……2.4～1.8 評価D……1.7～1.0



1 学力向上(基礎的・基本的学力の定着)



3.6 A

3.5 A

3.6 A

平均
3.6 A

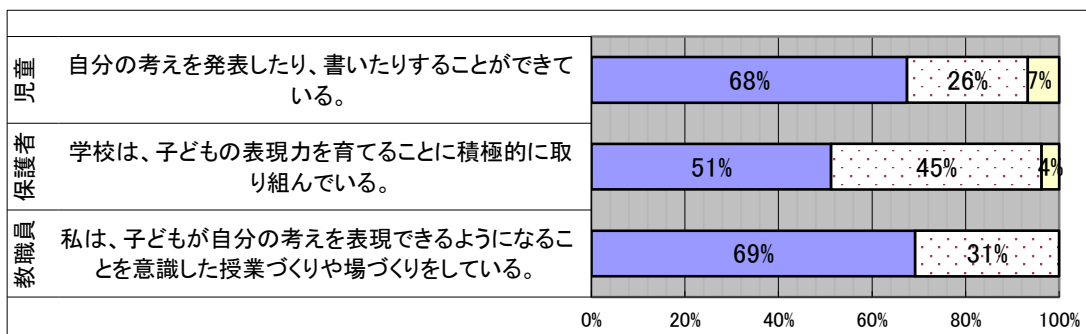
(考察及び今後の取り組み)

・全国学力・学習状況調査(6年生対象4月実施)では、国語のみ全国・県平均を上回りましたが、佐賀県学習状況調査(4～6年生対象12月実施)においては、ほとんどの教科で県の平均値を大きく上回ることができました。

・児童アンケートでは、「授業がよくわかり、楽しく学習に取り組んでいる」という問いの「十分そう思う」児童の割合は昨年より15ポイント伸びてきており、児童が意欲的に授業に取り組んでいることが分かります。しかしながら、保護者アンケートの「学校は、児童のやる気を引き出し、分かりやすい授業を工夫して行っている」については、教職員との意識のずれがあります。今後さらに、わかる授業づくりに向けて、研修を重ね学校として教師の授業力向上に努めていきたいと思えます。



2 学力向上(自分の考えを表現する力の育成)



3.6 A

3.5 A

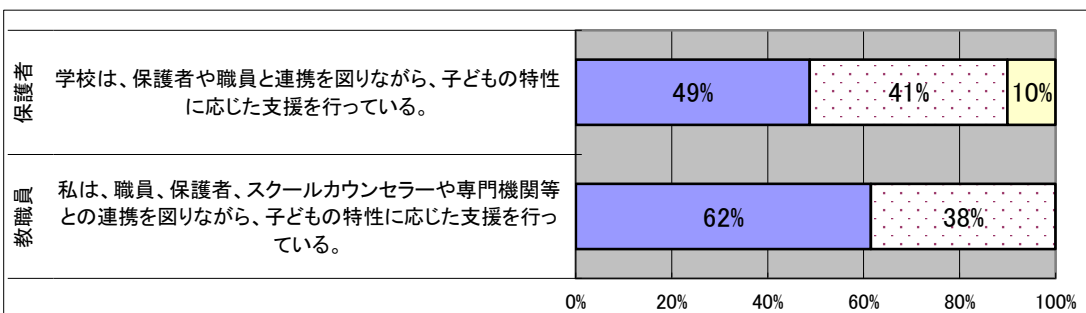
3.7 A

平均
3.6 A

(考察及び今後の取り組み)

・「自分の考えを発表したり書いたりすることができている」の問いに対して「十分そう思う」と答えた児童が昨年度より9ポイントも増えています。自分の考えをもつ場や考えを表現したり交流したりする場を意識的に設けたことで、子どもたちが表現することに対して自信をつけてきているようです。保護者の「十分そう思う」の割合も昨年よりも上がってはいるものの保護者と教職員の意識のずれがまだあるようです。引き続き、子どもたちが自分の考えを友だちと交流したり、表現したりできる場をいろんな教科において設定し、できた事に対して称賛さらに自信をもって表現ができるようにしてい

3 特別支援教育・教育相談の充実



3.4 A

3.6 A

平均
3.4 A

(考察及び今後の取り組み)

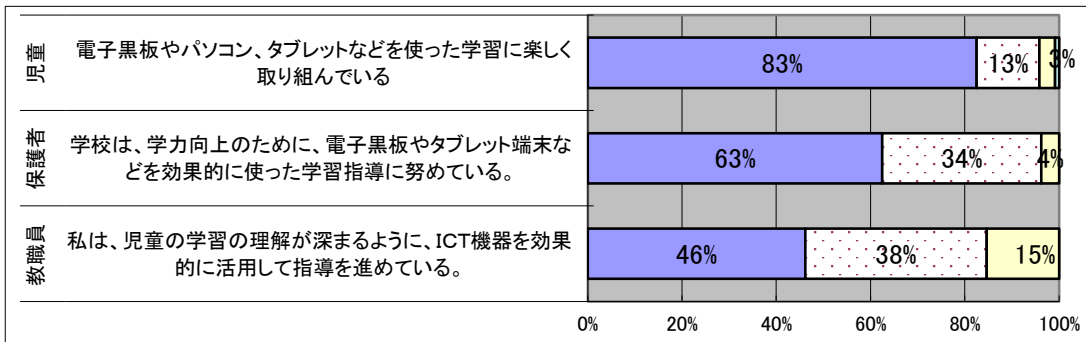
・特別支援教育・教育相談の充実については、「あまりそう思わない」と答えた保護者が10ポイントと、昨年より増えています。この結果を厳しく受け止め以下の点について、保護者と連携し児童の支援にあたりたいと考えます。

・特別支援教育では、子どもの困り感によりそった指導を心がけ、専門機関や医療機関と連携した支援体制の工夫・改善にさらに取り組んでいます。

・教育相談では、保護者とスクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー等の関係機関と連携を図り、生活や学習について一人一人に応じた指導・支援にさらに努めていきます。



4 ICTを活用した授業実践の推進



3.8 A

3.6 A

3.4 A

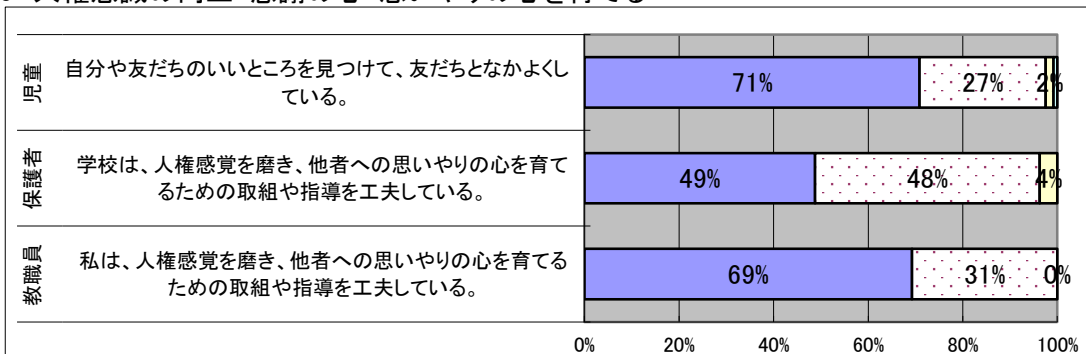
平均
3.8 A

(考察及び今後の取り組み)

・2学期からは、新しいタブレット型のパソコンの導入により、これまでよりもさらに活用の機会と場が広がりました。さらに、情報収集力、情報活用力、表現力を高めるため、社会、理科、家庭科、総合的な学習の時間等で、調べ学習やスキル学習を繰り返し、個々の能力やスキルの向上を目指していきたいと思ひます。

・6年生ではロボットを使ったプログラミング学習の出前授業等を行い、来年度から始まる新学習指導要領の実施に向けて準備をしています。今後、タブレットパソコンを活用し各学年応じたプログラミング学習に取り組んでいきます。

5 人権意識の向上・感謝の心・思いやりの心を育てる



3.7 A

3.5 A

3.7 A

平均
3.7 A

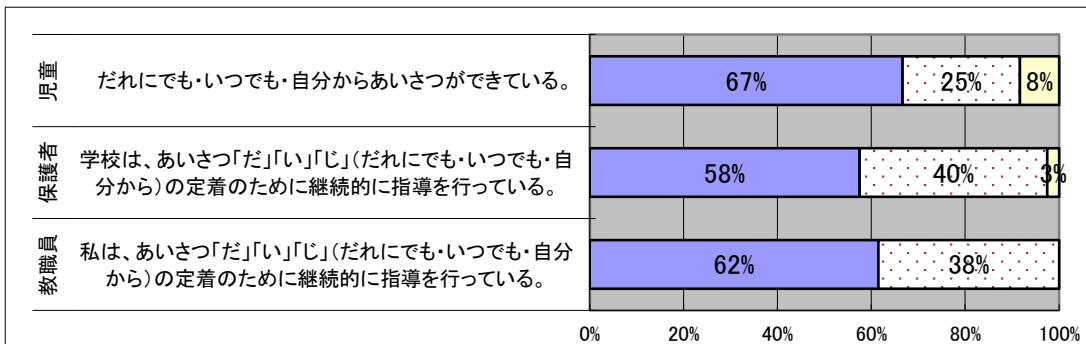
(考察及び今後の取り組み)

・年間を通して人権集会、平和集会、なかよし活動、けやきカードなど、様々な人権教育に取り組んでいることで、互いのよさを認め合い励まし合う姿が多く見られるようになってきました。昨年度より増え、児童の「十分そう思う」のポイントが7割を超える結果となりました。

・今年度より、「特別の教科 道徳」が始まりました。子どもたちが、自分の考えを本音で語り合える、『考え・議論する』道徳の授業を目指し、研修を深めて授業に改善に努めているところです。今後とも、道徳の授業や豊かな体験活動の充実にも努め、子どもたちの豊かな心の育成を図ってまいりますので、ご協力をお願いします。



6 生徒指導の充実



3.6 A

3.6 A

3.6 A

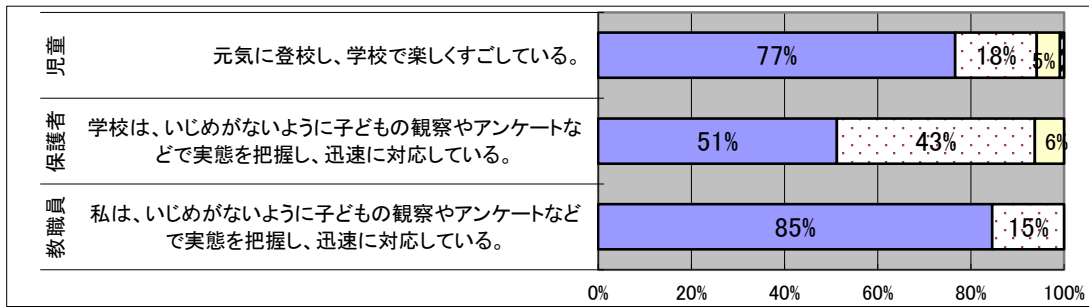
平均
3.6 A

(考察及び今後の取り組み)

・あいさつについては、生徒指導の重点指導項目「あいさつ・そうじ・あとしまつ」の一番に挙げ、校長や職員の立哨指導、運営委員会のあいさつ運動に日々取り組んでいます。登校時や下校時に限らず、校内でも元気に大きな声であいさつしてくれる子どもたちが増えていきました。昨年度は、地域でのあいさつが課題であることが指摘されていました。コミュニティスクールの重点課題として挙げていますので、引き続き学校と家庭・地域が連携して継続的に指導をしていきたいと思ひます。



7 いじめのない学校づくり



3.7 A

3.5 A

3.8 A

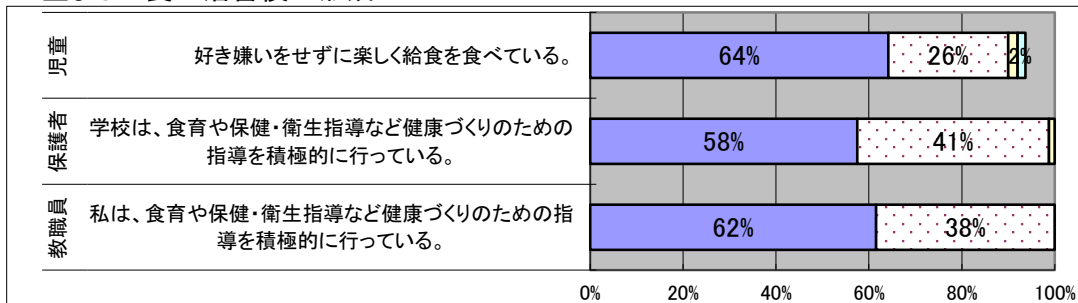
平均
3.7 A

(考察及び今後の取り組み)

- ・児童・保護者の「十分そう思う」の割合は昨年と並となっています。学校として「いじめは絶対に許さない」という信念を教職員全員がもち、いじめの前段階として考えられる、ふざけや悪口に対しては、毅然とした態度で即座に注意・指導するようにしています。ご家庭で子どもたちの様子でお気づきの点がありましたら、学校までお知らせください。
- ・子どもたちが学校生活を楽しく安心して過ごせるように、縦割りでの活動や集会活動などを充実させ、グループやクラスの一人として楽しく活動できる機会を増やし、子どもの居場所づくりに努めていきます。
- ・5月と12月には全学年で学校生活満足度アンケート(QU)を実施し、児童の実態を把握しその結果を学級づくりに生かし子どもたちが安心して学校生活を送れるようにしています。
- ・学期毎の「こころのお天気」や、7月には「生活習慣と健康に関する調査」を実施することで、一人一人の児童に気を配り、励ましたり悩みを聞いたりすることを続けていきます。



8 望ましい食生活習慣の形成



3.5 A

3.6 A

3.5 A

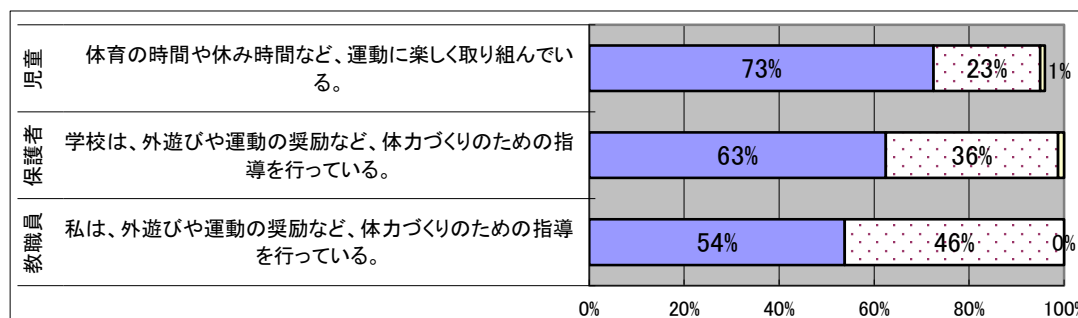
平均
3.6 A

(考察及び今後の取り組み)

- ・昨年度より、「十分そう思う」児童の割合が12ポイントも下がっており、「あまり、全く思わない」児童が若干増えています。
- ・給食時間の放送や給食便り、ラッキースターの取組みを通して、食の楽しさや大切について伝えていきます。
- ・4・5年生はJA婦人部、地域婦人会や食改の方々のご支援で親子料理教室や須古寿司づくりに取り組んだり、6年生はしめ縄作りの後に地域の方々や保護者と一緒にだご汁で会食をしました。



9 運動習慣の定着化・望ましい生活習慣の形成



3.7 A

3.6 A

3.5 A

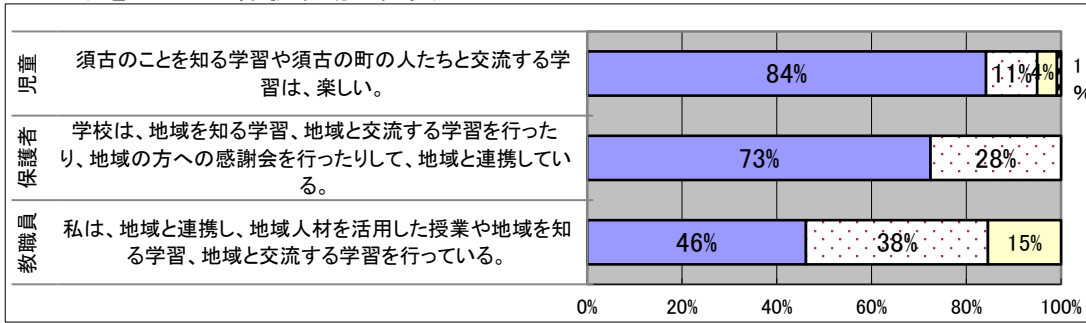
平均
3.7 A

(考察及び今後の取り組み)

- ・「十分そう思う」と答えた児童の割合が昨年度より、8ポイントほど下がっていました。また、教職員の「十分そう思う」の割合も下がっており、教職員側の意識を見直す必要があると考えます。
- ・子どもたちのたくましく健やかな体づくりのために、外部講師を招聘し、器械運動等の指導を行い、子どもたちが自分のめあてに向かって意欲的に取り組む体育学習の充実を図っています。昨年度まで、体育委員会が中心となって取り組んでいたスポーツチャレンジ等を計画することで、外遊びや運動に楽しく取り組む児童の割合を増やしていきます。



10 地域を生かした体験活動の充実



3.8 A

3.7 A

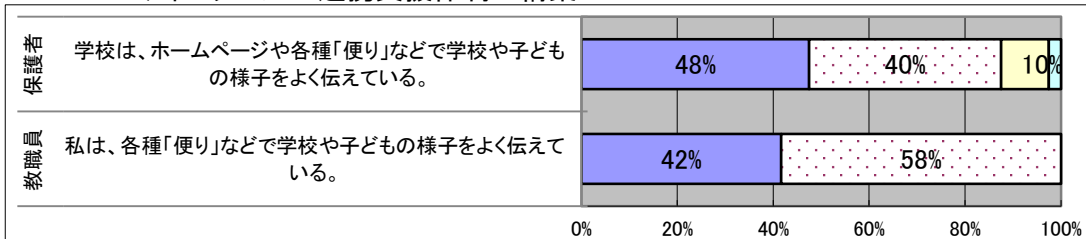
3.3 A

平均
3.8 A

(考察及び今後の取り組み)

- ・児童・保護者とも昨年と比べ「十分そう思う」と答えた割合はほぼ同じでした。職員の「あまりそう思わない」と答えたのは、積極的に関わることができなかったことの反省が理由として挙げられるようです。
- ・須古小学校区内には豊かな自然と数多くの歴史的文化遺産があります。今後も、これらの地域素材を学習に活用して、郷土を愛する子どもたちを育てていきたいと考えています。地域行事に積極的に参加させ、活動を通して豊かな人間関係を育み、自分たちの住む郷土への理解と愛着を深める教育を進めていきたいと思っておりますので、ご協力をお願いいたします。

11 コミュニティスクールの連携支援体制の構築



3.3 A

3.4 A

平均
3.3 A

(考察及び今後の取り組み)

- ・昨年度まで、フェイスブックで逐一子どもたちの活動の様子を伝えてきましたが、今年はフェイスブックの運用面で制限がかかり、ほとんど発信することができませんでした。そのことが、今年のアンケートに大きく反映しているものだと考えます。保護者アンケートにも「以前はフェイスブックの更新が早かったですが今は更新されず残念です」というご批判を受けています。
- ・フェイスブックの運用については見直しを行い、今後は2月より新しく学校ホームページが変わりスマートフォン対応になりましたので、その中で学校の様子を広く発信していきたいと考えております。何卒ご理解いただくようお願いいたします。



<保護者の方より>

○クラスの先生がしっかり生徒一人一人のやる気を出させる声かけしてくれて子どもが学校や先生が大好きで親として安心して学校へ行かせられる学校です。

○子ども達への多様な対応ありがとうございます。これからも子ども達の自分で考え行動する姿を見つめ大きな心で見守りご指導をいただけたらと思います。

○いつも子ども達の成長のために尽力いただき感謝しております。ありがとうございます。家庭の方でもできる限り指導し成長をうながせればと思っていますので、何かありましたお声かけをいただければと思います。

○いろいろ大変と思いますが、子どもたちのことをよろしく願います。

○いつも子どもたちが元気に学習に取り組む配慮をしていただきありがとうございます。

○引き続き命を大切にする教育、努力の大切さを伝える教育に取り組んでください。

○小さなことでもご心配くださり、インフルエンザのときには自宅に「どんな具合ですか」とTELくださり嬉しかったです。

◆学校に対する温かい励ましのお言葉、本当にありがとうございます。

また、日頃より本校の教育活動に対してご協力、ご支援いただいておりますことにも心より感謝致しております。

今後も子どもたちのために、ご家庭や地域と手を取り合って頑張っていきたいと思っております。



△以前はフェイスブックの更新が早かったのですが今は更新されず残念です。便り等で行事等の様子を教えてもらっていますが、フェイスブックの方がより分かりやすく伝わったので楽しみにしていました。

△ノーテレビ・ノーゲームデーですが、土日だとなかなか実行できないので第〇曜日としていただけると助かります。

△近隣の学校の学級閉鎖（インフルエンザ等）の情報もマチコミで流してもらえるとどこの地区で増加しているか分かって、買い物等の外出を控えるのでありがたいです。

◆ご意見ありがとうございます。

○フェイスブックについては、7月の学校だよりでお知らせした通り、管理面での不具合がありましたので、運用を中止しています。今後は、2月より県の教育情報システムが新しくなるのに伴い、学校ホームページも変更しスマートフォンに対応する画面になります。そのサイト内のギャラリーで学校の様子を細かく発信していきたいと考えております。何卒ご理解をいただくようお願いいたします。

新しいホームページのURL:

<https://www.education.saga.jp/hp/suko-e/>

○ノーテレビ・ノーゲームデーの実施日については、これまで「毎月1日」として保護者の皆様に周知をし取り組んでいただいております。また、県PTA協議会の「県下一斉のノーテレビ・ノーゲームデー」も11月1日と決まっています。このことをご理解いただき、ご協力をよろしくお願いいたします。

○近隣の学校のインフルエンザによる学級閉鎖の情報については、学校を管理する上で教育委員会を通して学校間のみ情報を共有しております。他の学校の情報については、お伝えすることはできかねますのでご理解をお願いします。

今回このアンケートは、保護者、児童、教職員にとらせていただいて集計しております。今後も何かご不明の点やご相談されたいことがありましたら、いつでも学校にお問い合わせください。

